

ツツジ 花言葉：節度、慎み

# 四万十川ニュース Vol.120

中村河川国道事務所 平成30年5月29日

## 第12回「マイヅルテンナンショウの会」総会・四万十川自然観察会の開催



総会の様子



谷地森氏の講演



四万十川自然観察会

マイヅルテンナンショウ

平成30年5月19日(土)、絶滅危惧種 マイヅルテンナンショウの保護活動を行っている市民団体「マイヅルテンナンショウの会」の総会が、四万十市防災センターで開催されました。

参加した会員等約30名は、本年度も観察会や保護のための草刈り等を行うことを決議しました。また、NPO法人四国自然史科学研究センターの谷地森秀二氏によるカエルの生態や見分け方などの講演に耳を傾け、身近な自然への見識を深めました。

その後、入田ヤナギ林内にあるマイヅルテンナンショウの自生地で、今年の生育状況を観察。高さ80cm以上に成長し開花しているものも多く、活動継続の効果を実感しつつ、今後も元気に育つよう周囲の草刈りに汗を流しました。また、谷地森氏から四万十川入田地区には高知県に生息する11種のカエルのすべてが確認されているとの話がありましたが、早速ニホンアマガエルを見つけて喜んでいる人もいました。

## 排水ポンプ車等の操作訓練の開催

梅雨前線や台風などの豪雨の際、堤防の居住地側の流水が河川に排水できなくなった場合におこる家屋等の浸水被害を軽減させるため、排水ポンプ車を出動させ緊急的な排水作業を行うことがあります。

平成30年5月21日(月)、本格的な雨のシーズンを迎える前に、排水ポンプ車等の出動に備え、国土交通省職員や地元の建設業者の方々、関係自治体等約60人が参加し、排水ポンプ車や照明車を実際に稼働させる訓練を行いました。

訓練では国内最大級の排水能力を持つ排水ポンプ車に加え、機動性に優れる軽量型の排水ポンプ車、夜間作業に備えるための照明車を出動させ、設置から操作までの一連の作業を確認するとともにこれから迎える本格的な降雨の時期にむけて気持ちを引き締めていました。



排水ポンプの設置訓練



照明車の説明



## 四万十川自然再生事業のホームページを開設

中村河川国道事務所は、「人と自然とが共生できていた昭和40年代の四万十川の原風景の保全・再生」を目指した四万十川自然再生事業に取り組んでいます。

ホームページでは、これまでの中村河川国道事務所における取り組みや、地域の皆さんの協働・連携について紹介しています。

ぜひ、これまでの取り組みをご覧ください。

四万十川自然再生事業

検索

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/shimantoshizensaisei/index.html>

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

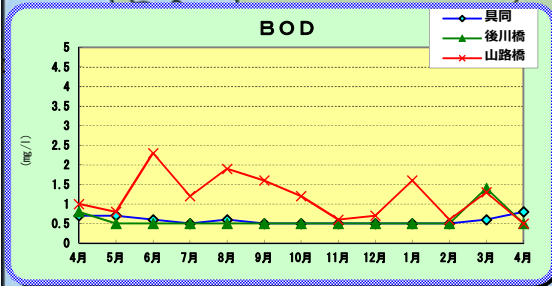
# 4月の四万十川の様子

## 四万十川の水質

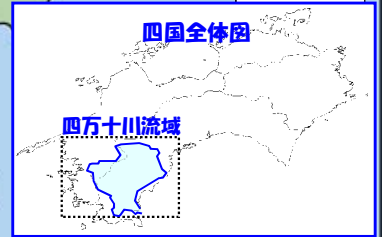
具同観測所  
(4月18日測定)

水温 17.7℃  
 pH 7.6  
 BOD 0.8mg/l  
 SS 1mg/l  
 DO 10.1mg/l  
 大腸菌群数 460MPN/100ml  
 流量(日平均) 43.8m<sup>3</sup>/s

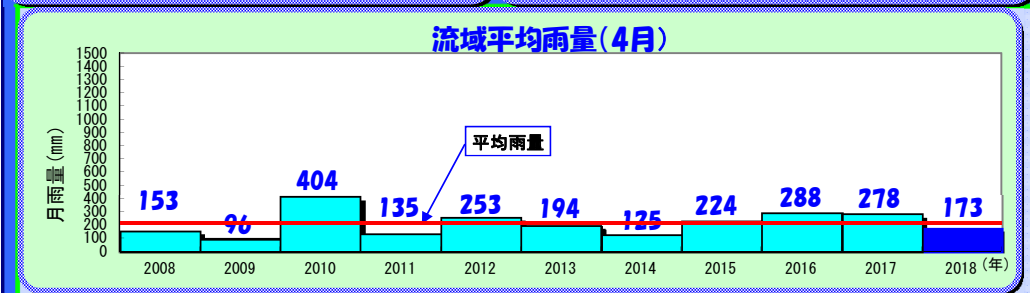
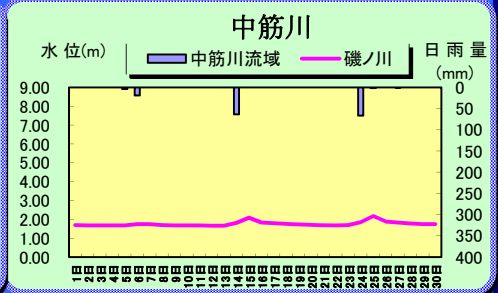
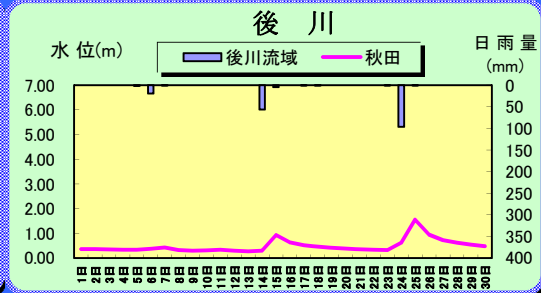
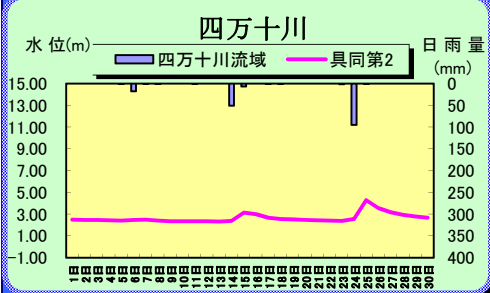
※測定値は全て速報値です



四万十川	1.0mg/l以下
後川	2.0mg/l以下
中筋川	3.0mg/l以下



## 雨量・水位データ



4月の四万十川流域平均雨量173mmは平年の0.8倍程度の雨量です。  
 なお、過去10年間の平均雨量は215mmです。  
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。  
 ※測定値は全て速報値です。

**四万十川の水位・雨量について**

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

川の防災情報 提供 国土交通省 水管理・国土保全局